

2020年度 予算 のお知らせ

2019年度 決算 見込み

2019年度の決算は黒字となる見込みです。これは、2015年度に保険料率を63/1000から83/1000に引き上げたため保険料収入が増えたことによるもので、財政の健全化を示す経常収支でも2億8,216万円の黒字を見込んでいます。しかしながら、保険料収入の4割近くを占める納付金（前期高齢者納付金、後期高齢者支援金、退職者給付拠出金、および老人保健拠出金等）が増加傾向にあり、予断を許さない状況であることには変わりありません。

2020年度 予算概要

2020年度の経常収入は、28億7,573万8千円、経常支出は、31億6,488万5千円となり、経常収支差引きでは2億8,914万7千円の赤字予算と見込んでいます。高齢者医療制度などによる国へ納める納付金は2019年度に比べ1億737万8千円増の12億2,546万8千円となりました。納付金は今後も増加すると推測されるため、準備金等の蓄えを保つ必要があります。

高額な医療費の支出が増加傾向に

皆さんの医療費等に支出する保険給付費は、2014年度から減少傾向であったものが2019年度決算では増加に転じる予測です。これは2019年度に高額療養費が増加したためで、この傾向は続いており、一人当たりの給付金額もやや増加となりました。これらを勘案の上、2020年度予算でも高額な医療費の発生を考慮し、2019年度に比べ5,823万円増の15億2,547万1千円の予算としました。

皆さんの健康を守る事業を強化

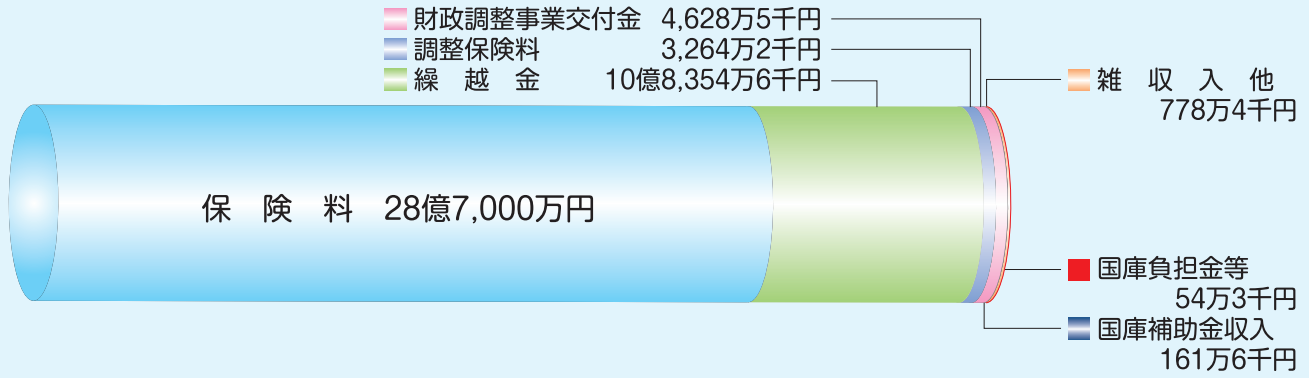
皆さんの健康を守るために支出する保健事業費には3億1,674万9千円を充て、特定健診の被保険者受診率の維持、被扶養者受診率の向上、特定保健指導受診率の向上、さらにはがん検診受診率の向上を図ってまいります。また、日帰り人間ドックの自己負担額の引き下げや禁煙施策強化および、自己の健康管理を推進するためにインセンティブポイントの付与機会を増やします。

健康保険組合としましては、経費の削減および効果的な健康増進事業を実施してまいります。皆さんにおかれましては、保健事業をご活用いただき健康な身体づくりを目指していただくとともに、適正受診等、医療費の削減にご協力いただきますようお願いいたします。

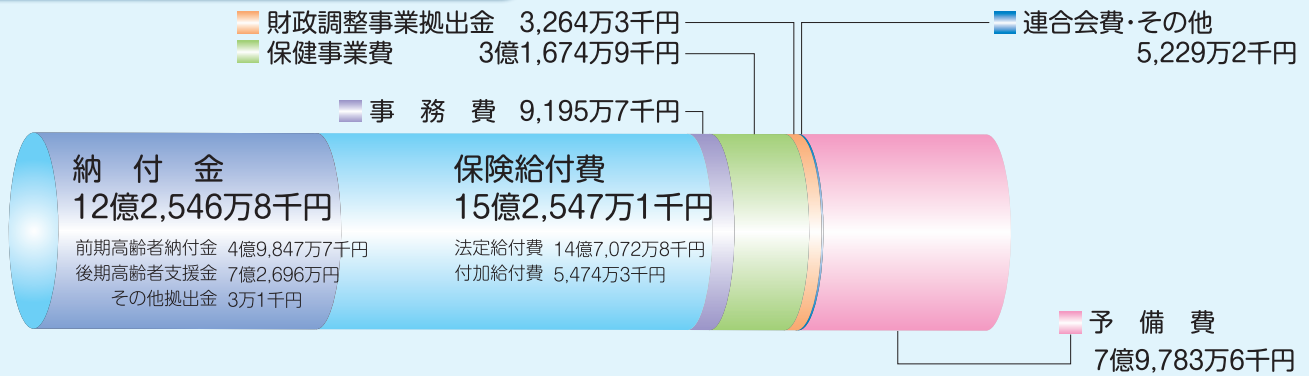
介護保険

2020年度予算は保険料収入に対して1億2,272万4千円の赤字となる見込みです。これは介護保険の納付金が人数割から総報酬割による計算に変更されたためです。不足分は前年度からの繰越金と介護準備金からの繰入金、および一般勘定からの受入で補っています。

収入 40億4,241万6千円



支出 40億4,241万6千円



健康保険

予算総額 40億4,242万円
経常収入 28億7,574万円
経常支出 31億6,489万円
経常収支 ▲2億8,915万円

予算基礎数値

被保険者数	3,972人 男性 2,935人 女性 1,037人
平均年齢	44.40歳 男性 45.20歳 女性 42.06歳
被扶養者数	5,300人
前期高齢者加入率	0.564851%
保険料率 (調整保険料率含む)	83.00/1000

(事業主 51/1000 被保険者 32/1000)

介護保険

予算基礎数値

介護保険第2号 被保険者たる被保険者数	2,756人
介護保険料率 (事業主・被保険者折半)	12.00/1000

予算の概要

(単位:千円)

収入	科目	予算額
	介護保険収入	333,235
	繰越金	33,234
	繰入金	50,000
	雑収入他	3
	一般勘定受入	45,000
合計	461,471	

支出	科目	予算額
	介護納付金	455,959
	還付金	800
	積立金	100
	雑支出	110
	予備費	4,502
合計	461,471	